

# 保育士及び幼稚園教諭を目指す短期大学生の 就職意識に関する調査研究 (1)

— 短期大学生に対するアンケート調査をもとに —

田中 浩二

## I はじめに

平成25年10月、厚生労働省は「保育を支える保育士の確保に向けた総合的取組」を取りまとめ、国として保育士の人材確保に向けて総合的に取り組む方向を示した。その背景として、待機児童解消に向けて保育の量的拡大が図られていることや、地方での保育士志願者の減少などが考えられる。平成22年に公表された厚生労働省委託調査研究である「平成21年度保育士の需給状況等に関する調査研究報告書」において、離職率等を考慮して推計される平成29年度の保育士数は38.6万人に対して、同平成29年末に必要とされる保育士数は約46.0万人と推計され、約7.4万人の不足が予測されている<sup>1) 2)</sup>。

保育士の不足が取りざたされる中、平成26年4月時点で全国には622の保育士養成校があり、定員規模で換算すると約5万6000人の保育士資格取得者および幼稚園教諭免許取得者が養成されている。一方で、具体的な数字は明らかではないが、保育士を養成する大学や短期大学等を卒業した後に、保育所や幼稚園等に就職をしない卒業生も相当数いることが推測されている。その要因については、保育士を志すようになった個人的な背景や、大学、短期大学等での経験、実習での経験などが大きく影響しているのではないかと考えられる。例えば、廣瀬らは、短期大学の入学前後に働く人のモデルの存在の有無が、学業や就職の行動等に影響を及ぼすことを明らかにしている<sup>3)</sup>。しかし、就職の選択や決定には、複合的な要因が絡んでおり、これら一つ一つの要素を明らかにしながら最終的に包括的に分析していく必要がある。

そこで、本調査研究では、これから保育所や幼稚園などでの就職を目指す短期大学生を対象に、就職に関する意識を形成する大きな要因になると考えられる実習での感想や就職に関する意識の調査を行い、短期大学生の就職に関する意識の実態を明らかにすることを目的とした。

## II 方法

### i 調査対象および調査方法

調査対象は、保育士及び幼稚園教諭を取得する課程に所属する短期大学生2年生191名を対象とした。

調査方法について、調査票は、①基本情報（性別、年齢）、②対象者の背景（家族・親族等に保育者がいるか、ピアノ経験など）、③就職への意識（就職先の種別を決めているか、就職活動の開始時期）、④実習の感想（幼稚園実習（1年次・2年次）、保育所実習（1年次）、施設実習（2年次）のそれぞれについて）、⑤就職先を決める要素、で構成した。

調査は、2013年7月に自記式において実施した。

なお、調査に際して、同意書を付し、無記名とすることで個人が特定されない方法において実施した。

## ii 分析方法

分析方法については、記述統計量の算出および、就職を決める要素については、項目毎の相対的な位置関係を示すためにItem Indexを算出した。Item Indexは以下の数式で求めた。Item Indexは、重要性の有無によって重み付けを行い、 $(0 \times \text{「全く重要でない」の数} + 1 \times \text{「あまり重要でない」の数} + 3 \times \text{「まあまあ重要である」の数} + 4 \times \text{「重要である」の数}) / (\text{「全く重要でない」の数} + \text{「あまり重要でない」の数} + \text{「まあまあ重要である」の数} + \text{「重要である」の数}) \times 25$ で求められる。その際、すべての回答が「全く重要でない」であった場合のItem Indexの値は0になり、すべての回答が「重要である」であった場合、Item Indexの値は100になる。したがって、Item Indexは項目間同士の重要性の有無を0から100の間で示す目安として用いることができる。Item indexの計算にあたっては、未回答は削除した。

志望する就職先の種別と就職先を決める要素との関連については、公立幼稚園および私立幼稚園は幼稚園、公立保育所および私立保育所は保育所として統合し、就職先を決める要素との間で $\chi^2$ 検定を行った。

## III 結果

短期大学幼児教育科2年生191人に対して調査票を配布したところ、148名から回答が得られた。回収した148件の内、半数以上の項目が未回答であった1件を除外し、残りの147件(有効回収率77.0%)を集計および分析の対象とした。

### i 対象者の基本属性

対象となった147件の概要については次の通りである。性別は、男性1名(0.7%)、女性146名(99.3%)だった。年齢は、18歳から25歳の間で、平均年齢は19.4歳、標準偏差は $\pm 0.7$ 歳だった。

### ii 対象者の背景

「家族・親族に保育者がいますか」の問いに対して、「はい」との回答は39件(26.5%)、「いいえ」の回答は105名(71.4%)、未回答は3件(2.0%)だった。

ピアノの経験は、113名(76.9%)が経験を有しており、平均経験年数は6.2年、最短年数は1年、最長年数は17年だった。

「いつから保育者になろうと思いましたか」の問いに対しては、平均11.8歳から、最小値は3歳、最大値は22歳、標準偏差は $\pm 4.5$ 歳となった。

出席状況については、1年時および2年時の授業出席状況について、「ほとんど来ている」、「やや休みがち」、「休みがち」から選択してもらった。1年時、2年時ともにおよそ80%が「ほとんど来ている」を選択しており、1年時と2年時の大きな変化も認められなかった(表1)。

表1 出席状況について

n=147

項目	出席状況	
	1年次出席状況	2年次出席状況
ほとんど来ている	116 (78.9%)	120 (81.6%)
やや休みがち	26 (17.7%)	22 (15.0%)
休みがち	2 (1.4%)	2 (1.4%)
未回答	3 (2.0%)	3 (2.0%)
合計	147 (100.0%)	147 (100.0%)

注：数字は度数、カッコ内の数字はパーセント

## iii 就職への意識について

就職への意識として、考えている就職先の種別および就職活動の時期について質問した。就職先の種別としては、調査を行った2013年7月下旬の時点で、138名(93.9%)が就職先の種別を決めていると回答した。決めていると回答した138名のうち、それぞれ、公立幼稚園が4件、私立幼稚園が86件、公立保育所が12件、私立保育所が52件、認定こども園が11件、社会福祉施設が7件、一般企業が4件、その他が4件となった(表2)。また、就職活動を開始する時期については、「8月以降」および「9月以降」でおおよそ7割となった(表3)。

表2 考えている就職先について n=138

項目	「はい」の回答(%)
公立幼稚園	4 (2.9)
私立幼稚園	86 (62.3)
公立保育所	12 (8.7)
私立保育所	52 (37.7)
認定こども園	11 (8.0)
社会福祉施設	7 (5.1)
一般企業	4 (2.9)
その他	4 (2.9)

注1：複数選択のため合計は対象数と異なる

注2：数字は度数、カッコ内の数字はパーセント

注2：パーセントは138件に対するパーセント

表3 就職活動開始時期について n=147

項目	「はい」の回答(%)
すでに始めている	10 (6.8)
7月以降	13 (8.8)
8月以降	48 (32.7)
9月以降	58 (39.5)
10月以降	11 (7.5)
11月以降	0 (0.0)
12月以降	0 (0.0)
未定	7 (4.8)
合計	147 (100.0)

注1：数字は度数、カッコ内の数字はパーセント

## iv 実習の感想について

1年次から調査を行なった2年次の7月末までで幼稚園実習を2回(1年次および2年次)、保育所実習を1回、施設実習を1回、計4回の実習を実施している。それぞれの実習に対して、「楽しかった」や「勉強になった」、「職場の人間関係」、「子どもと保育者の関係」、「保育者になりたいと思う気持ちが強くなった」など10項目について、「思わない」から「思う」までの4段階で感想を回答してもらった。全体の結果は、表4および図1に示すとおりである。なお、図1では、「不・未参加」を除き、それぞれの項目での割合を示した。

全体として「思う」あるいは「まあまあ思う」が多い中で、特に、「楽しかった」や「勉強になった」、「子どもと保育者の関係が良いと感じた」、「仕事内容を理解できた」、「保育者

という職業の現実を知った」で、「思う」あるいは「まあまあ思う」の割合が高く、加えて実習の時期が進むに連れてその割合が増加する傾向となった。一方、「職場の人間関係が良いと思った」や「園の雰囲気の魅力を感じた」などでは「あまり思わない」あるいは「思わない」の割合が他の項目と比べて高かった。また、ほとんどの項目において実習の回数が進むにつれて実習そのものや就職に向けての意識が向上する傾向も見られた。

表4 実習の感想について

n=147

項 目	実習の感想					
	思わない	あまり思わない	まあまあ思う	思う	不・未参加	
楽しかった	幼稚園実習（1年次）	8 (5.4)	18 (12.2)	57 (38.8)	64 (43.5)	0 (0.0)
	保育実習（1年次）	10 (6.8)	23 (15.6)	45 (30.6)	69 (46.9)	0 (0.0)
	幼稚園実習（2年次）	3 (2.0)	9 (6.1)	31 (21.1)	102 (69.4)	2 (1.4)
	施設実習（2年次）	3 (2.0)	6 (4.1)	15 (10.2)	33 (22.4)	92 (62.6)
勉強になった	幼稚園実習（1年次）	1 (0.7)	7 (4.8)	34 (23.1)	105 (71.4)	0 (0.0)
	保育実習（1年次）	1 (0.7)	7 (4.8)	37 (25.2)	102 (69.4)	0 (0.0)
	幼稚園実習（2年次）	0 (0.0)	5 (3.4)	13 (8.8)	127 (86.4)	2 (1.4)
	施設実習（2年次）	0 (0.0)	5 (3.4)	10 (6.8)	42 (28.6)	92 (62.6)
職場の人間関係が良いと感じた	幼稚園実習（1年次）	9 (6.1)	23 (15.6)	49 (33.3)	66 (44.9)	0 (0.0)
	保育実習（1年次）	16 (10.9)	29 (19.7)	42 (28.6)	60 (40.8)	0 (0.0)
	幼稚園実習（2年次）	10 (6.8)	13 (8.8)	47 (32.0)	75 (51.0)	2 (1.4)
	施設実習（2年次）	1 (0.7)	3 (2.0)	16 (10.9)	36 (24.5)	92 (62.6)
子どもと保育者の関係が良いと感じた	幼稚園実習（1年次）	3 (2.0)	5 (3.4)	32 (21.8)	107 (72.8)	0 (0.0)
	保育実習（1年次）	5 (3.4)	15 (10.2)	32 (21.8)	95 (64.6)	0 (0.0)
	幼稚園実習（2年次）	2 (4.0)	4 (2.7)	23 (15.6)	116 (78.9)	2 (1.4)
	施設実習（2年次）	1 (0.7)	3 (2.0)	11 (7.5)	43 (29.3)	92 (62.6)
保育者になりたいと思う気持ちが強くなった	幼稚園実習（1年次）	7 (4.8)	23 (15.6)	37 (25.2)	79 (53.7)	0 (0.0)
	保育実習（1年次）	8 (5.4)	14 (9.5)	50 (34.0)	74 (50.3)	0 (0.0)
	幼稚園実習（2年次）	3 (2.0)	6 (4.1)	29 (19.7)	106 (72.1)	2 (1.4)
	施設実習（2年次）	2 (1.4)	4 (2.7)	18 (12.2)	31 (21.1)	92 (62.6)
仕事内容を理解できた	幼稚園実習（1年次）	1 (0.7)	10 (6.8)	60 (40.8)	76 (51.7)	0 (0.0)
	保育実習（1年次）	1 (0.7)	7 (4.8)	58 (39.5)	81 (55.1)	0 (0.0)
	幼稚園実習（2年次）	1 (0.7)	4 (2.7)	39 (26.5)	101 (68.7)	2 (1.4)
	施設実習（2年次）	1 (0.7)	2 (1.4)	21 (14.3)	31 (21.1)	92 (62.6)
保育者という職業の現実を知った	幼稚園実習（1年次）	0 (0.0)	4 (2.7)	32 (21.8)	111 (75.5)	0 (0.0)
	保育実習（1年次）	1 (0.7)	3 (2.0)	31 (21.1)	112 (76.2)	0 (0.0)
	幼稚園実習（2年次）	0 (0.0)	1 (0.7)	22 (15.0)	122 (83.0)	2 (1.4)
	施設実習（2年次）	1 (0.7)	12 (8.2)	42 (28.6)	92 (62.6)	92 (62.6)
尊敬できる保育者との出会いがあった	幼稚園実習（1年次）	10 (6.8)	26 (17.7)	30 (20.4)	80 (54.4)	0 (0.0)
	保育実習（1年次）	12 (8.2)	28 (19.0)	41 (27.9)	65 (44.2)	0 (0.0)
	幼稚園実習（2年次）	4 (2.7)	8 (5.4)	34 (23.1)	98 (66.7)	2 (1.4)
	施設実習（2年次）	3 (2.0)	10 (6.8)	14 (9.5)	28 (19.0)	92 (62.6)
保育者としての仕事のやりがいを感じた	幼稚園実習（1年次）	6 (4.1)	14 (9.5)	35 (23.8)	91 (61.9)	0 (0.0)
	保育実習（1年次）	3 (2.0)	11 (7.5)	49 (33.3)	84 (57.1)	0 (0.0)
	幼稚園実習（2年次）	2 (1.4)	2 (1.4)	27 (18.4)	114 (77.6)	2 (1.4)
	施設実習（2年次）	2 (1.4)	6 (4.1)	13 (8.8)	34 (23.1)	92 (62.6)
園の雰囲気に魅力を感じた	幼稚園実習（1年次）	10 (6.8)	40 (27.2)	32 (21.8)	65 (44.2)	0 (0.0)
	保育実習（1年次）	18 (12.2)	30 (20.4)	44 (29.9)	53 (36.1)	0 (0.0)
	幼稚園実習（2年次）	4 (2.7)	20 (13.6)	47 (32.0)	74 (50.3)	2 (1.4)
	施設実習（2年次）	3 (2.0)	8 (5.4)	19 (12.9)	25 (17.0)	92 (62.6)

注1 数字は度数、カッコ内の数字はパーセント

注2 未回答は省いているため項目によって合計値は異なる

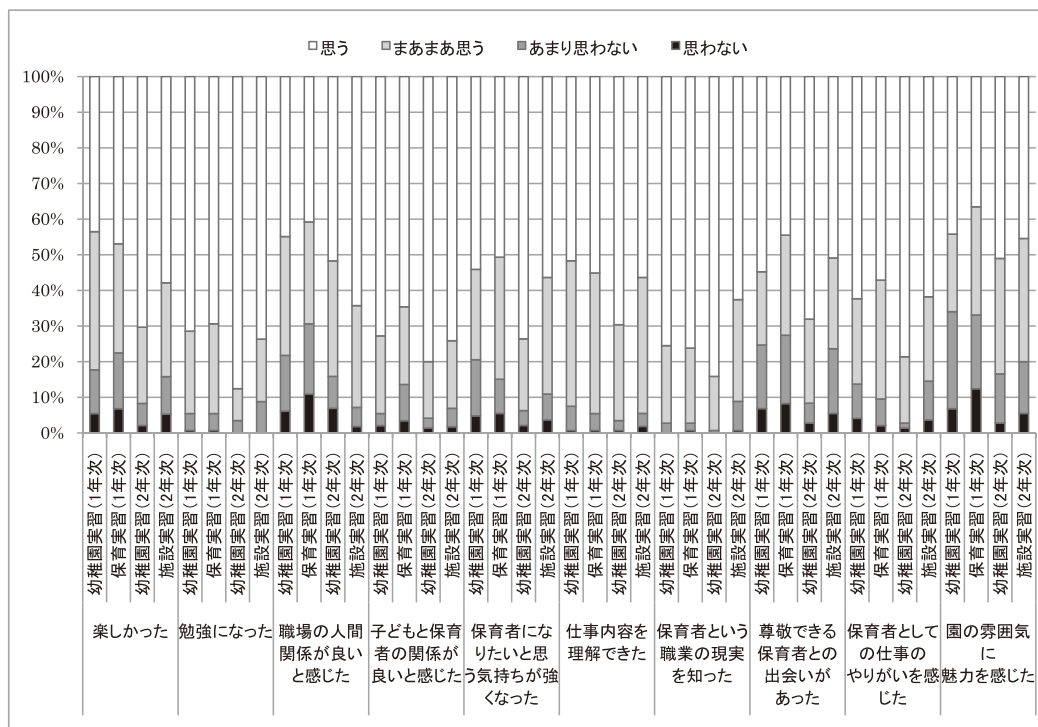


図1 実習の感想について

### v 就職先を決める要素について

就職先を決める要素の結果を表5および図2に示した。「とても重要である」が多かった項目は、「園の雰囲気が良いこと」や「職場の人間関係が良いこと」、「主任や先輩などの人柄が良いこと」、「園長先生の人柄が良いこと」の4項目で、いずれも8割以上となった。「とても重要である」および「まあまあ重要である」を合わせると、先の項目に加えて、「家からの距離、(この場合、「まあまあ近くが良い」となる)」や「勤務時間が規則的であること」、「土日が安みであること」、「給料の額」、「手当(住宅手当、通勤手当など)が充実していること」、「職場の清潔感」、「園の教育・保育方針が自分のイメージと近いこと」など、多岐の項目に渡った。一方、「全く重要でない」や「あまり重要でない」が多かった項目は、「出身園であること」や「ピアノを使う頻度、(この場合、「少ない方が良い」、「できれば少ない方が良い」となる)」、「子どもの人数、(この場合、「少ない方が良い」、「できれば少ない方が良い」となる)」、「大学の先輩が働いていること」となった。

就職を決める要素についてのItem Indexの結果は、表5および図3に示すとおりである。もっとも高いItem Indexを示した項目は、「主任や先輩などの人柄が良いこと」の97.1を筆頭に、「園の雰囲気が良いこと」や「職場の人間関係が良いこと」、「園長先生の人柄が良いこと」など、主に人間関係に関連する項目で高い値を示した。

表5 就職先を決める要素について

n=147

項目	全く重要でない ※注1	あまり重要でない ※注1	まあまあ重要である ※注1	とても重要である ※注1	Item Index
1 実習先であったこと ※注1	14 (9.5)	36 (24.5)	62 (42.2)	35 (23.8)	61.6
2 出身園であること	35 (23.8)	61 (41.5)	36 (24.5)	14 (9.5)	38.5
3 就職試験の内容が簡単であること	4 (2.7)	33 (22.4)	94 (63.9)	16 (10.9)	64.5
4 家からの距離が ※注1	0 (0.0)	8 (5.4)	131 (89.1)	7 (4.8)	73.5
5 職場の立地が良い(駅の近くなど) こと	1 (0.7)	22 (15.0)	91 (61.9)	33 (22.4)	72.6
6 残業 ※注1	4 (2.7)	39 (26.5)	81 (55.1)	23 (15.6)	63.6
7 勤務時間が規則的であること	2 (1.4)	9 (6.1)	92 (62.6)	44 (29.9)	78.4
8 土日が休みであること	2 (1.4)	9 (6.1)	68 (46.3)	68 (46.3)	82.5
9 給料の額	2 (1.4)	5 (3.4)	80 (54.4)	60 (40.8)	82.5
10 手当(住宅手当・通勤手当など)が充実していること	1 (0.7)	9 (6.1)	79 (53.7)	58 (39.5)	81.3
11 給食があること	11 (7.5)	43 (29.3)	72 (49.0)	21 (14.3)	58.3
12 服装、髪型が自由であること	2 (1.4)	53 (36.1)	73 (49.7)	19 (12.9)	59.2
13 園の設備(運動場やプール等)が充実していること	2 (1.4)	35 (23.8)	76 (51.7)	34 (23.1)	67.9
14 職場の清潔感	1 (0.7)	5 (3.4)	62 (42.2)	79 (53.7)	86.2
15 行事活動の頻度が	3 (2.0)	31 (21.1)	89 (60.5)	24 (16.3)	67.0
16 ピアノを使う頻度が ※注1	31 (21.1)	59 (40.1)	46 (31.3)	11 (7.5)	41.0
17 職員の人数が ※注1	3 (2.0)	59 (40.1)	76 (51.7)	9 (6.1)	54.9
18 子どもの人数が ※注1	11 (7.5)	77 (52.4)	47 (32.0)	10 (6.8)	44.5
19 働いている職員の年齢層	4 (2.7)	52 (35.4)	78 (53.1)	12 (8.2)	57.2
20 大学の先輩が働いていること	39 (26.5)	72 (49.0)	26 (17.7)	9 (6.1)	31.8
21 園の雰囲気が良いこと	1 (0.7)	1 (0.7)	22 (15.0)	122 (83.0)	95.0
22 職場の人間関係が良いこと	0 (0.0)	3 (2.0)	11 (7.5)	133 (90.5)	96.6
23 主任や先輩などの人柄が良いこと	0 (0.0)	1 (0.7)	14 (9.5)	132 (89.8)	97.1
24 園長先生の人柄が良いこと	0 (0.0)	2 (1.4)	13 (8.8)	131 (89.1)	96.7
25 保護者からの評判が良いこと	0 (0.0)	3 (2.0)	40 (27.2)	101 (68.7)	91.5
26 研修等による、保育者の子どもに対しての向上心があること	0 (0.0)	10 (6.8)	57 (38.8)	79 (53.7)	85.1
27 園の教育・保育方針が自分のイメージと近いこと	0 (0.0)	3 (2.0)	37 (25.2)	106 (72.1)	92.1

注1：選択肢は、1「実習先であったこと」については、重視していない・あまり重視していない・まあまあ重視している・とても重視している、4「家からの距離」については、すごく遠くが良い・まあまあ遠くが良い・まあまあ近くが良い・すごく近くが良い、6「残業が」については、多くも構わない・少しなら構わない・できれば無い方がよい・無い方がよい、16「ピアノを使う頻度」および17「職員の人数」、18「子どもの人数」については、少ない方がよい・できれば少ない方がよい・まあまあ多い方がよい・多い方がよい、となる。

注2：数字は度数、カッコ内の数字はパーセント

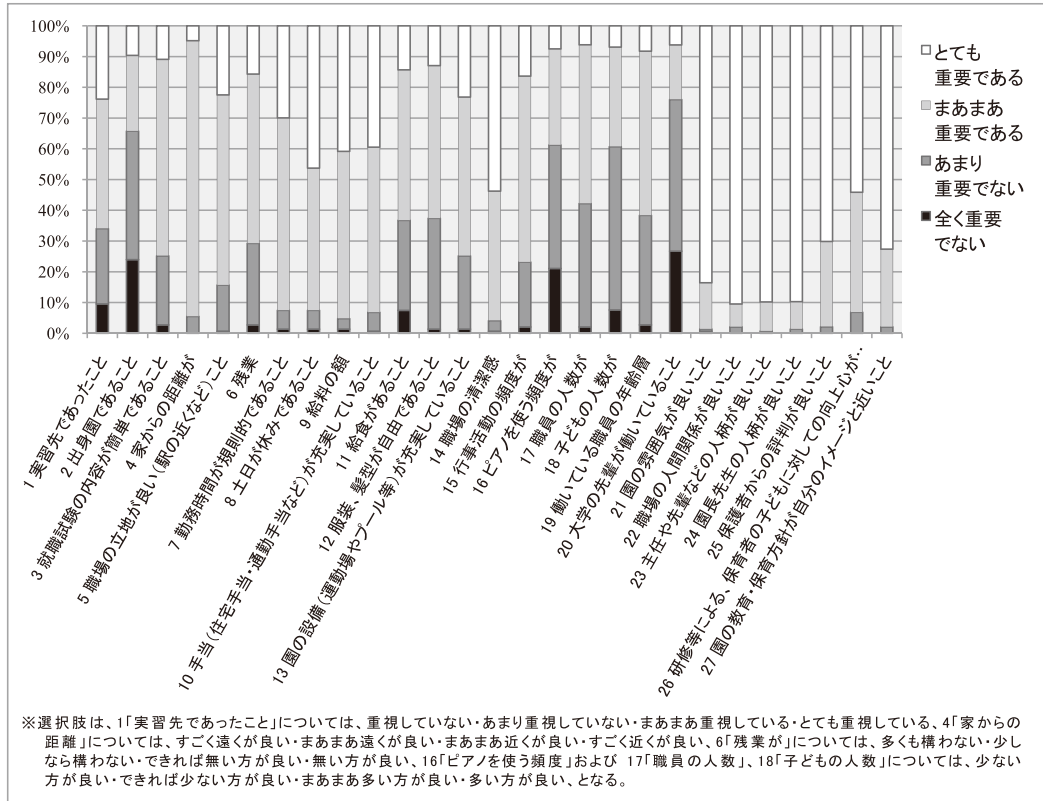


図2 就職先を決める要素について

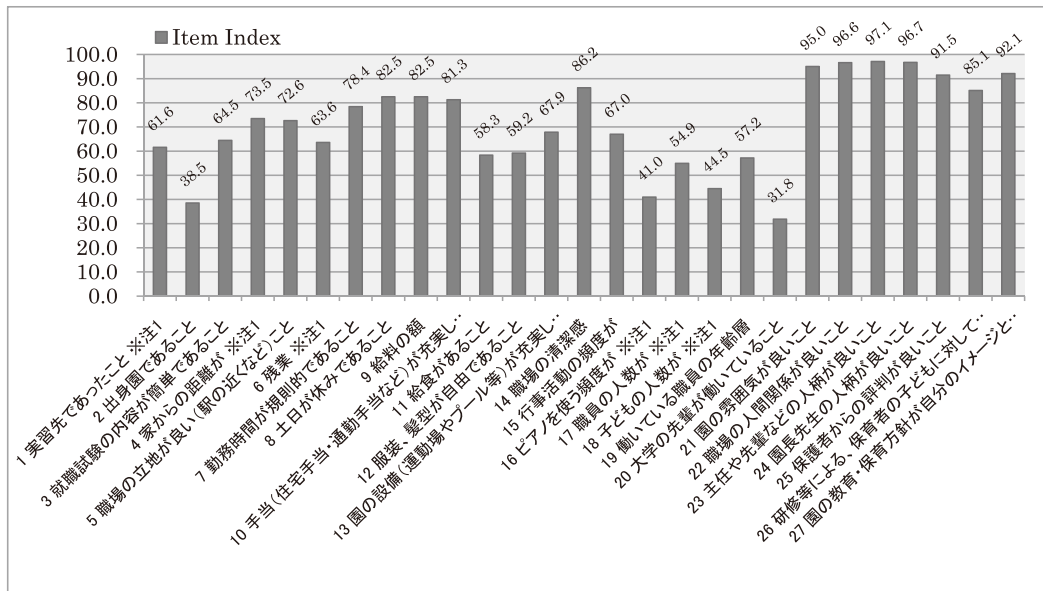


図3 就職先を決める要素についてのItem Index

#### vi 就職先の種別と就職を決める要素の関連について

就職先の種別と就職を決める要素との関連の $\chi^2$ 検定の結果を表6に示した。就職先の種別が幼稚園で就職を決める要素との間に関連性が見られた項目は「出身園であること」の1項目で、有意に「まあまあ重要である」「とても重要である」が多かった。就職先の種別が保育所の回答者では、「ピアノを使う頻度」と「職場の人間関係が良いこと」の2項目で関連性が確認された。「ピアノを使う頻度」については「少ない」こと、「職場の人間関係が良いこと」については「まあまあ重要である」「とても重要である」が有意に多い結果となった。



表6 就職先の志望の種別と就職先を決める要素との関連

n=147

項目	志望の種別	全く重要でない ※注1	あまり重要でない ※注1	まあまあ重要である ※注1	とても重要である ※注1	P Value ※注3
1 実習先であったこと ※注1	幼稚園	7 (8.0)	19 (21.8)	38 (43.7)	23 (26.4)	0.28
	保育所	6 (9.8)	21 (34.4)	23 (37.7)	11 (18.0)	0.22
2 出身園であること	幼稚園	16 (18.4)	34 (39.1)	28 (32.2)	9 (10.3)	0.01*
	保育所	19 (31.7)	26 (43.3)	13 (21.7)	2 (3.3)	0.06
3 就職試験の内容が簡単であること	幼稚園	1 (1.1)	20 (23.0)	55 (63.2)	11 (12.6)	0.62
	保育所	0 (0.0)	18 (29.5)	37 (60.7)	6 (9.8)	0.15
4 家からの距離が ※注1	幼稚園	0 (0.0)	5 (5.7)	78 (89.7)	4 (4.6)	0.86
	保育所	0 (0.0)	3 (4.9)	53 (86.9)	5 (8.2)	0.35
5 職場の立地が良い(駅の近くなど) こと	幼稚園	1 (1.1)	14 (16.1)	54 (62.1)	18 (20.7)	0.68
	保育所	0 (0.0)	6 (9.8)	40 (65.6)	15 (24.6)	0.41
6 残業 ※注1	幼稚園	3 (3.4)	22 (25.3)	45 (51.7)	17 (19.5)	0.79
	保育所	2 (3.3)	22 (36.1)	28 (45.9)	9 (14.8)	0.14
7 勤務時間が規則的であること	幼稚園	1 (1.1)	6 (6.9)	53 (60.9)	27 (31.0)	0.89
	保育所	1 (1.6)	4 (6.6)	39 (63.9)	17 (27.9)	0.69
8 土日が休みであること	幼稚園	1 (1.1)	4 (4.6)	36 (41.4)	46 (52.9)	0.48
	保育所	1 (1.6)	6 (9.8)	26 (42.6)	28 (45.9)	0.25
9 給料の額	幼稚園	0 (0.0)	5 (5.7)	45 (51.7)	37 (42.5)	0.17
	保育所	1 (1.6)	2 (3.3)	36 (59.0)	22 (36.1)	0.51
10 手当(住宅手当・通勤手当など)が充実していること	幼稚園	0 (0.0)	6 (6.9)	47 (54.0)	34 (39.1)	0.52
	保育所	0 (0.0)	3 (4.9)	35 (57.4)	23 (37.7)	0.83
11 給食があること	幼稚園	7 (8.0)	29 (33.3)	37 (42.5)	14 (16.1)	0.41
	保育所	2 (3.3)	14 (23.0)	35 (57.4)	10 (16.4)	0.08
12 服装、髪型が自由であること	幼稚園	2 (2.3)	32 (36.8)	39 (44.8)	14 (16.1)	0.57
	保育所	1 (1.6)	24 (39.3)	28 (45.9)	8 (13.1)	0.92
13 園の設備(運動場やプール等)が充実していること	幼稚園	0 (0.0)	22 (25.3)	42 (48.3)	23 (26.4)	0.17
	保育所	1 (1.6)	13 (21.3)	32 (52.5)	15 (24.6)	0.84
14 職場の清潔感	幼稚園	1 (1.1)	3 (3.4)	35 (40.2)	48 (55.2)	0.85
	保育所	1 (1.6)	3 (4.9)	22 (36.1)	35 (57.4)	0.32
15 行事活動の頻度が	幼稚園	2 (2.3)	17 (19.5)	53 (60.9)	15 (17.2)	0.99
	保育所	1 (1.6)	15 (24.6)	34 (55.7)	11 (18.0)	0.51
16 ピアノを使う頻度が ※注1	幼稚園	11 (12.6)	36 (41.4)	31 (35.6)	9 (10.3)	0.06
	保育所	17 (27.9)	31 (50.8)	11 (18.0)	2 (3.3)	0.00*
17 職員の人数が ※注1	幼稚園	2 (2.3)	36 (41.4)	42 (48.3)	7 (8.0)	0.36
	保育所	1 (1.6)	21 (34.4)	36 (59.0)	3 (4.9)	0.59
18 子どもの人数が ※注1	幼稚園	6 (7.0)	41 (47.7)	32 (37.2)	7 (8.1)	0.37
	保育所	7 (11.5)	32 (52.5)	19 (31.1)	3 (4.9)	0.34
19 働いている職員の年齢層	幼稚園	3 (3.4)	32 (36.8)	47 (54.0)	5 (5.7)	0.29
	保育所	1 (1.6)	25 (41.0)	28 (45.9)	7 (11.5)	0.38
20 大学の先輩が働いていること	幼稚園	24 (27.6)	43 (49.4)	13 (14.9)	7 (8.0)	0.77
	保育所	18 (29.5)	30 (49.2)	10 (16.4)	3 (4.9)	0.69
21 園の雰囲気が良いこと	幼稚園	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (11.5)	77 (88.5)	0.13
	保育所	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (18.0)	50 (82.0)	0.28
22 職場の人間関係が良いこと	幼稚園	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (5.7)	82 (94.3)	0.11
	保育所	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (13.1)	53 (86.9)	0.01*
23 主任や先輩などの人柄が良いこと	幼稚園	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (8.0)	80 (92.1)	0.37
	保育所	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (13.1)	53 (86.9)	0.12
24 園長先生の人柄が良いこと	幼稚園	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (9.2)	79 (90.8)	0.34
	保育所	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (9.8)	55 (90.2)	0.56
25 保護者からの評判が良いこと	幼稚園	0 (0.0)	1 (1.2)	27 (31.4)	58 (67.4)	0.03
	保育所	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (23.7)	45 (76.3)	0.39
26 研修等による、保育者の子どもに対しての向上心があること	幼稚園	0 (0.0)	6 (6.9)	30 (34.5)	51 (58.6)	0.71
	保育所	0 (0.0)	2 (3.3)	22 (36.1)	37 (60.7)	0.42
27 園の教育・保育方針が自分のイメージに近いこと	幼稚園	0 (0.0)	2 (2.3)	17 (19.5)	68 (78.2)	0.19
	保育所	0 (0.0)	1 (1.6)	13 (21.3)	47 (77.0)	0.64

注1：選択肢は、1「実習先であったこと」については、重視していない・あまり重視していない・まあまあ重視している・とても重視している、4「家からの距離」については、すごく遠くが良い・まあまあ遠くが良い・まあまあ近くが良い・すごく近くが良い、6「残業が」については、多くも構わない・少しなら構わない・できれば無い方が良い・無い方が良い、16「ピアノを使う頻度」および17「職員の人数」、18「子どもの人数」については、少ない方が良い・できれば少ない方が良い・まあまあ多い方が良い・多い方が良い、となる。

注2：数字はそれぞれの種別(幼稚園、保育所)での「はい」と回答した度数、カッコ内の数字はパーセント

注3： $\chi^2$ 検定, P Value  $* < 0.05$

#### IV 考察

短期大学では、幼稚園教諭免許と保育士資格を取得する場合、2年間で計5回の実習を要する。特に2年次では、実習と並行して就職活動を行うことになる。就職先の選択・決定を行う際、実習での経験は大きな影響を及ぼすことが想定される。本調査の結果では、実習の感想を質問しており、多くの項目で実習の経験が増える度に、実習そのものや保育あるいは幼児教育の仕事に対する意識が前向きになっていた。初期の実習では分からないことやできないことが多い中で不安の方が期待よりも大きく、実習の回数が進むにつれて、知っていることが増えること、また技術なども含めてできることが多くなっていくことが要因と推測される。このことは、「勉強になった」や「仕事内容を理解できた」といった項目での「思う」の割合の多さや、回数が増えるごとに増加していることから推察される。一方、実習の経験を重ね、保育や幼児教育の現場に関わることで、就職に対する不安も増加していることが伺えた。「保育者になりたいという気持ちが強くなった」や「保育者としての仕事のやりがいを感じた」では、全体としては「思う」および「まあまあ思う」を合わせた割合は増えているものの、その中での「思う」の割合は経験が増えるごとに減少する傾向が示された。

就職を決める要素については、これまでの先行研究などと同様に、「職場の人間関係」に関連する項目で高い重要性が示された。また、人間関係の内容については、職場の同僚となる主任や先輩保育者、さらには園長等も含めての人間関係の重要性が示唆された結果となった<sup>4) 5)</sup>。

また、就職先の種別と就職の意識との関連性については、幼稚園を志望する回答者で1項目、保育所を志望する回答者で2項目の関連性が見られ、若干ではあるが、志望する就職種別によって意識の傾向の違いが見られた。志望する就職先の種別に関わらず、就職先を決める要素として、前述の人間関係に関する内容が重視されていることを前提としながらも、幼稚園の志望と保育所の志望によって意識の違いが確認されたことは、今後の就職への対応を検討する上でも有益な知見と考えられる。

本研究の限界として、主に2つの課題が挙げられる。第一に、就職先の決定に関しては居住地の状況や個人的背景、実習での経験など多様な要素が関連していると考えられる。本研究では、志望種別と就職を決める要素との関連を分析し、いくつかの背景となる要因を得ている。しかしながら、これまでの生育歴や様々な経験、実習と就職意識の関連性などについての分析は行っていないため、今後、背景となる因子の分析が必要であると考えられる。

第二として、対象となる短期大学生が関東で、なおかつ首都圏の1つの大学ということである。就職に関しては、地域性や都市規模などによっても事情が異なり、所在する大学の地域性や、保育所及び幼稚園等の就職率等も考慮して、複数の大学・短期大学等で調査・分析を行う必要がある。

#### 5 おわりに

本研究では、短期大学生の実習の意識および就職を決定する要素について調査・集計を行った。その結果、実習については、経験を重ねる中で仕事に対する理解の高まりと同時に不安等も高まることが示唆された。また、就職先を決定する要因として、職場のあらゆる人間関係を重要視していることが明らかになった。さらに、志望する就職先の種別によって、就職先を決める要素に若干の相違があることが確認された。

#### 参考文献

- 1) 厚生労働省：「保育を支える保育士の確保に向けた総合的取り組み」の公表，2013.10，<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11907000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Hoikuka/0000026218.pdf#search='保育を支える保育士の確保に向けた'>
- 2) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング：平成21年度保育士の需給状況等に関する調査研究報告所，三菱UFJリサーチ&コンサルティング，2010
- 3) 廣瀬等、高良美樹、金城亮、廣瀬真喜子：短期大学生の進路に関する研究－働く人のモデルの有無が進路に及ぼす影響－，琉球大学教育学部紀要，68，p.191-204，2006
- 4) 辻野順子、仲宗根稔：保育者養成短期大学における就職先の決定と就職後のやりがい感に関する実証的研究，20，p.1-10，2010
- 5) 株式会社ポラリス：就職白書，株式会社ポラリス，2012